

報道関係者各位

2026年6月24日

神奈川大学

**理学と工学の知を融合し、分野を超えた協働から社会実装へと展開する力を育む
 幅広い理工系分野を一体化した「総合理工学研究科」が誕生します**

2028年に創立100周年を迎える神奈川大学(本部:横浜市、学長:戸田 龍介)は、2027年4月、既設の大学院理学研究科及び大学院工学研究科を発展的に改組し、新たに「総合理工学研究科」を開設します(設置予定)。

総合理工学研究科には、既設の理学研究科理学専攻及び工学研究科工学専攻を融合させた11の専門領域(数学・物理学・化学・生物科学・情報学・機械工学・電気電子情報工学・応用化学・経営デザイン・応用物理学・生命機能学)を有する「理工学専攻」と、既設の工学研究科建築学専攻を踏襲した「建築学専攻」の2つの専攻を設けます。



開設時期:2027年4月(予定)

開設場所:神奈川大学 横浜キャンパス

名称		修業年限	入学定員	収容定員	学位
総合理工学研究科	理工学専攻(博士前期課程)	2	179	358	修士(理学) 修士(工学) 修士(情報学)
	建築学専攻(博士前期課程)	2	30	60	修士(建築学)
	理工学専攻(博士後期課程)	3	14	42	博士(理学) 博士(工学) 博士(情報学)
	建築学専攻(博士後期課程)	3	3	9	博士(建築学)

◎総合理工学研究科で養成する人材像

総合理工学研究科は、理学と工学を跨ぐ多様な専門分野の融合を図り、科学技術の活用とイノベーションを促進することで、工学技術を援用した自然科学の発展を担う人材や、自然科学の成果を活用した工学を含む科学技術の発展を担う人材の育成を目的としています。各専攻において養成する人材像は以下のとおりです。

■理工学専攻博士前期課程

自然科学及び工学に関する基礎知識並びにその応用能力を有し、異分野融合による幅広い視野に立って複雑化・高度化する問題を解明するなど、人間の豊かな暮らしや持続可能な社会を支える研究者及び高度専門職業人を養成します。

■建築学専攻博士前期課程

様々な機能と諸技術、そして美とを調整し、それらの最善の総合化を図ることによって、人間の多様な営みにとって使いやすく、安全で快適、かつ感動を呼ぶ持続可能な空間や形態・環境を創造し、先端的知識を要求される建築の諸分野の問題に、積極的に立ち向かえる専門的技術者を養成します。

■理工学専攻博士後期課程

自然科学及び工学に関する基礎的かつ高度な専門的知識を有し、時代の趨勢や社会の要請を踏まえた新たな価値を提供することのできる創造性豊かな優れた研究者及び高度専門職業人並びに確かな教育・研究能力を有する大学教員を養成します。

■建築学専攻博士後期課程

様々な機能と諸技術、そして美とを調整し、それらの最善の総合化を図ることによって、人間の多様な営みにとって使いやすく、安全で快適、かつ感動を呼ぶ持続可能な空間や形態・環境を創造することを高度に達成し、先端的知識と技術を要求される建築の諸分野で、率先して新しい建築分野を切り開くことのできる高度な研究者及び専門技術者を養成します。

◎修了後の進路の見通し

領域により進路は大きく異なりますが、博士前期課程修了者は、主に領域分野に関連した企業等の技術職・営業職、中学校・高校の教員、博士後期課程への進学などの進路が考えられます。博士後期課程修了者は、大学教員や企業・公的機関の研究技術職に就くほか、ポストドクターとして研究を行い、高度な専門性を生かして社会に貢献するなどの進路が考えられます。

※本情報は2026年6月時点の予定であり、変更になる場合があります。

<各種お問合せ>

*入試に関して

入試事務部 滝澤健一・高橋啓史 TEL. 045-481-5857 (直通) / E-mail. admissioncenter@kanagawa-u.ac.jp

*取材に関して

広報課 羽賀丈雄・内田直子 TEL. 045-481-5661 (代表) / E-mail. kohou-info@kanagawa-u.ac.jp